

## 継続は力なり

関西テレビ夕方の番組「報道ランナー」で放送された写真です。

一昨年の五月頃に、視聴者が写真や動画を投稿するこのコーナーを知り、私でも出来るかなあと、以後ずっと、撮っては送り、撮っては送りを繰り返しました。なかなか採用されなかったのですが、子ども達が『いい加減やめといたら、無理やわ』と忠告してくれるのですが、私としては、「そんな事は無いわ」と続けていたら、一昨年の十二月に初めて取り上げられ、都合、3回放送されました。

これ、まさに 継続は力なり です。

「やっぱり続けていると、良いこともあるんだ」、また、知人などが感想を寄せてくれたりして、自分自身への励みにもなり、今も撮っては送り続けています。何気ない日常の中や、時にはわざわざ深山に分け入って、スマートフォン片手に提供する素材(ネタ)を探そうとする気構え、常に気を掛ける好奇心で、日々の張り合い(生きがい)を感じています。

会員 内橋喜美子



令和元年七月放送の大賀ハス(加東市平池公園内)



令和元年十一月放送の山茶花(県道厚利社線沿い)

## 会報 シルバー加東 No.26

発行日 令和2年2月1日  
公益社団法人  
加東市シルバー人材センター  
加東市上三草 234-1  
TEL.0795 (43) 9110  
FAX.0795 (42) 7475



会員の皆様、こんにちは。

昨年は5月の御代  
替わりを迎え令和  
元号になりました。

その後、11月にか  
けて慶祝行事が続きま  
した。

これらの祭祀行事に日本中の国民及び  
世界中が祝福し、その中でも大嘗祭の儀  
が始まる直前に雨が止み、虹がかかりま  
した。自然界も祝福をされたようですね。

この様に祝福された新しい令和の時代  
を迎えるにあたって、私たち加東市シル  
バー人材センター会員も心新たにしてい  
業、交流を深めていきたいと思います。

日本人口の減少が厚生労働省の統計で  
は、令和元年出生数90万人割りとなり、  
推計より2年早い少子化が進んでいると  
のことです。企業、政府も就労延長に力  
を入れており、70歳まで雇用延長する企  
業が増えてきました。

人生100年時代と言われている世の中  
あって当センターも会員増に力を入れて  
いきたい。

会員拡大では昨年よりチラシ配布、広  
報方法を工夫し、初めて、加東市秋のフェ  
スティバルにブースを設け、出前の就業  
説明会を行いました。

また、女性会員拡大のため、女性会員  
の声を得るために各々地域から女性理事を  
迎えました。会員の皆様の声掛けもあり  
若干会員数も増えております。ありがと  
うございます。

定年後、一度家にこもるとなかなか交  
流が難しくなり、出にくくなってしま  
います。シルバー会員になって就業をし  
けると仲間ができ、企業や地域住民から  
ありがたいの声をもらうと元気が出ます。

自分ができる範囲、時間で就労活動が  
でき喜んでもらえることはリタイヤ組の  
私たちにあって幸せなことです。このま  
ま100歳まで現役で活動しバタンキューと  
行く人生をおくりたいですね。

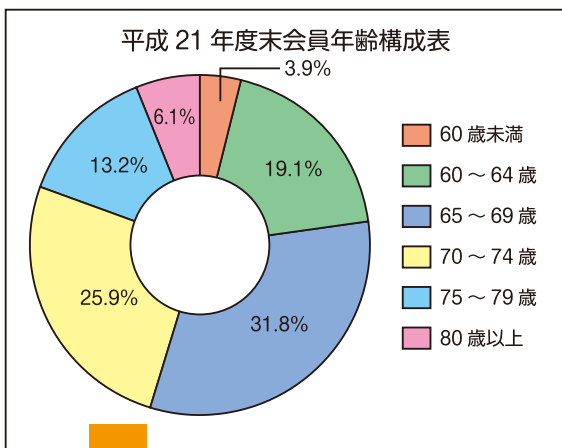
それと会員同士、地域交流で卓球や趣  
味活動で空き事務所を利用して下されば、  
事務所全体が活性することでしょう。  
お待ちしております。

理事長 樹梨 林三

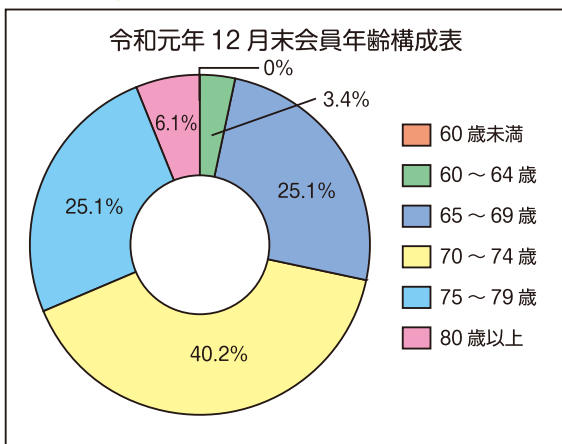
## 70歳代のあなたが、シルバーを支えています

10年前は60歳台(未満含む)が50%超 現在は70歳台が65%超

|        | 男性  | 女性  | 合計  | 構成比   |
|--------|-----|-----|-----|-------|
| 60歳未満  | 8   | 8   | 16  | 3.9%  |
| 60～64歳 | 53  | 25  | 78  | 19.1% |
| 65～69歳 | 78  | 52  | 130 | 31.8% |
| 70～74歳 | 79  | 27  | 106 | 25.9% |
| 75～79歳 | 33  | 21  | 54  | 13.2% |
| 80歳以上  | 19  | 6   | 25  | 6.1%  |
| 合計     | 270 | 139 | 409 |       |



|        | 男性  | 女性  | 合計  | 構成比   |
|--------|-----|-----|-----|-------|
| 60歳未満  | 0   | 0   | 0   | 0.0%  |
| 60～64歳 | 3   | 10  | 13  | 3.4%  |
| 65～69歳 | 72  | 23  | 95  | 25.1% |
| 70～74歳 | 87  | 65  | 152 | 40.2% |
| 75～79歳 | 59  | 36  | 95  | 25.1% |
| 80歳以上  | 15  | 8   | 23  | 6.1%  |
| 合計     | 236 | 142 | 378 |       |



# ◆加東市秋のフェスティバル 2019「釣り名人あつまれ！」



山田酒造食品㈱ 山田文彦社長

## ◆山田酒造食品

色々な職場を経験されてきていて、仕事には前向きな、きちっとしたご立派な姿勢でやってもらっているの、全く問題はありません。

会員が約 10 年前から就業させてもらっていますが、御社でシルバー人材センターを使うきっかけとは？

(山田社長)

私どもは、元々、酒粕やお酒の分野に近いものを扱っていますので、どうしても冬、秋口から春先までが繁忙期になるのですが、その期間限定で最初は3名のシルバーさんに来ていただいたのですが、現在は、ほぼ通年になりまして、多い時には7名ぐらいお世話になっています。

私どもとしては、本当に助けて頂いたということです。

季節的な就業から通年になったのは、御社が業務を拡大された結果だと思います。就業先が発展され、就業する会員を増やしていただくことは非常にありがたい話です。

会員は主に酒粕の袋詰めをさせていただいておりますが、出来上がった商品は主にどちらへ出荷・販売されていますか？

(山田社長)

酒粕と甘酒のペットボトル、味醂や漬物も作っていますが、お世話になっているのは酒粕の小分けで、北海道から九州まで出荷していますね。



シルバーの会員にとっても、自分たちが作った商品が全国に届けられているということは嬉しく思えるでしょうね

長くシルバー会員を使ってもらっているのは、好評いただいているからでしょうが、私共の会員、または、当シルバー人材センターに望まれることはありますか？

(山田社長)

そうですね。長いこと勤めていらっしゃるシルバーさんもおいでです、どうやって仕事をすれば良いか熟知してもらっています。私どもがこうしてくださいというよりも、シルバーさんから、こうするんやからこうしましょうと、逆におっしゃっていただいていますね。

年齢がということではなく、色々な職場を経験されてきていて、仕事には前向きな、きちっとしたご立派な姿勢でやってもらっているの、全く問題はありません。

あえて申し上げるならば、シルバーさんだけではなく、全職員に関わることで食品ですの、やはり衛生的にということが問われます。衛生についての認識というか自覚といいますか、昔よりもいろんな面で厳しくなっています。会社全体として気を付けていかなければならないので、シルバーさんにもそういう姿勢を継続して守っていただければと思います。

人生 100 年時代とか、生涯現役とか言われ、高齢になっても就業を続けるシルバー会員もありますか？

(山田社長)

私どもの仕事も、立ち仕事が多かったりして、決して楽な仕事ではないと思っています。

負担軽減のための機械化も検討していますが、シルバーさんが続けて来ていただけるのであれば、ありがたいと思っています。



折角ですので、御社のPRをお願いします。

(山田社長)

～商品サンプルを並べて～こういう甘酒の商品として考えていまして。これはフレーバーが違って、メロンとか、ピーチ、アップルとかそういう味が入っています。これを新しい商品として作っているところなんです。

酒粕や甘酒が、健康食品として脚光を浴びていますが、そういうトレンドを読んだの新商品なのですか？

(山田社長)

そう！そうですね。食品の種類で同じ売り場というものがありまして、精肉売り場とか、お豆腐売り場とか全部売り場によってバイヤーさんが違うのですが、同じカテゴリーの中で、同じバイヤーさんと懇意にしていたら売込みやすいとか、酒粕に近い商品を開発したということなんです。

未だ発売してなくて、これから(令和2年2月頃予定)スーパーさんで売っていただくとしています。

本日は、時間を取っていただきありがとうございます。



### 明るくて、元気で、楽しい職場になっております

続いて、就業現場で会員の横山節子さんにお話を聞きました

先ほど山田社長さんにお話を聞きましたら、ここで作られた製品が全国に向けて出荷されているとのこと

(横山さん) はい そうです。

で、会社としても大変助かっています、ということなんです

(横山さん) いやー私たちも助かっています。使ってもらってねえ ありがとうございます。

長く就業されている会員さんもいらっしゃいますが、長く続けられる魅力はありますか？

(横山さん) 皆、明るくて、元気で、楽しい職場になっております。

それが長く続けられている理由なんです (^^)

山田社長も、食品会社なので、衛生面に気を付けて欲しいとおっしゃっていましたが、シルバーの会員として就業・作業する上で特に気を使っていることはありますか？

(横山さん) 気を付けてというか、毎日、清潔で作業に臨むことです。



最近、人生 100 年時代とか、生涯現役とか言われていますが、この現場で何歳ぐらいまで就業いただけますか？

(横山さん) そーね!! 体が元気やったらいつまでも、仕事をしていきたいです。そうですか、ありがとうございます。(^^)

この会社へ行ってみたい、という会員さんに、先輩として就業のアドバイスはありますか？

(横山さん) いやー別に…。周り、みんなと仲良く、が第一ですね。

## ◆防災備蓄倉庫

災害が発生したら、ここにある機材や物資が大切な役割を果たすわけで…責任を感じます。

加東市には、災害が発生した場合に使用する資材や機材、物資などを備蓄する防災備蓄倉庫が、市内11か所にあります。この防災備蓄倉庫の資機材点検等の作業を、今年度から、当センターで地域を分担し、請け負っています。その1つである加東市天神の旧東条庁舎倉庫で、実際に点検作業を行っている現場へ赴き、お話を聞きました。

### どんな点検作業をされているのかご説明ください

(埜尻さん)

点検作業は、毎月行う作業と年2回行う作業があります。毎月行う作業はエンジン系統の点検、つまり、チェーンソー、エンジンカッター、発電機等が作動するかどうかの動作確認を行います。

あと、懐中電灯、ヘッドライト、投光器等があれば、点灯するかを確認し、また、簡単な故障であれば、エンジンカッターや発電機などは修理を行います

そして、この点検結果を報告シートに記入し、市役所防災課へ提出しています

(柴崎さん)

年2回の在庫確認がありまして、今年は5月でしたが、年度当初と年度末の3月にも、資機材、物資の数量を確認します。



(埜尻英樹さん 柴崎晃佳さん)

### この仕事を行う上で、特に気を付けていることはありますか？

(埜尻さん)やっぱりね、災害が発生したらここにある機材や物資が大切な役割を果たすわけで、いざという時に「動かない」、となれば責任を感じます。

(柴崎さん)それと温暖化による異常気象で、災害の大きさがとてつもない大災害となりますし、今後も続くと予想されるので、尚更、この点検作業が大事なことになると思っています。

### 地元地域に貢献するということで、シルバー人材センターの仕事の中でも特に大切なことだと考えていますが、長く続けて頂けるでしょうか？

(埜尻さん・柴崎さん)それはもう、出来るだけ頑張りたいと思っています。

ありがとうございます。今後もよろしくお願いします。

## ◆加東市秋のフェスティバル 2019「釣り名人あつまれ！」

毎回参加する子供たちと仲良くなり、「おっちゃん こんにちはー」と顔見知りになっていろいろな話したりすることが楽しいね。

### このイベントのお手伝いを、何年前からされていますか？

(井上さん)

「釣り名人あつまれ！」は、秋のフェスティバルの目玉イベントとして、兵庫県釣針協同組合が実施しているのですが、10年前ぐらいからシルバー人材センターの会員がお手伝いをしています。当初から3名の会員で、わたし自身、釣りが好きだったので、私は最初から手伝っています。

### この「釣り名人あつまれ！」には何人くらい参加されますか？

(井上さん)

534人の参加があったそうですが、制限時間20分間で、子供一人に3匹釣ることができ、希望者はその場で魚を私たちが捌くのですが、2日間で約330人かける3匹で、約1,000匹を捌いたことになり、大変でしたね。

### 苦労とかはありますか？

(井上さん)

先ほども言いましたが、釣りや魚を捌いたりするのが好きなので、大変ですが、この仕事が苦になることはないですね。それに、毎回参加する子供たちと仲良くなり、「おっちゃん こんにちはー」と顔見知りになっていろいろな話したりすることが楽しいね。

また、参加者の中には、意外と小さい女の子が多くて、活発で楽しく騒ぎながら釣っていますよ。



会員のまとめ役 井上 勲さん



別の場所では、「加東市秋のフェスティバル 2019」に初めてPRブースを設け、出前の就業相談・入会説明、そして甘酒の販売(完売!)を行いました。

令和元年度(公社)兵庫県シルバー人材センター協会会長15年表彰  
 受彰おめでとうございます これからもよろしくお願ひします



藤本美恵子さん  
 (平成15年9月入会)  
 就業：屋内清掃



飯田牧生さん  
 (平成15年11月入会)  
 就業：夜間施設管理



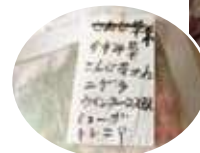
朝見通博さん  
 (平成16年4月入会)  
 就業：夜間施設管理



岡部 昇さん  
 (平成16年7月入会)  
 就業：除草屋外作業

「わたしの宝物～趣味を楽しむ会員を訪ねて」 第1弾

根気のいる趣味ですが、自分の思い通りに、  
 上手く出来た時にはとても嬉しくて、  
 それが楽しみです。(加東市松沢・井上寿々子さん)



押し花絵を制作するうえでの苦勞は何ですか？

綺麗な花の押し花を作るために、庭でいろんな種類の花を育て、  
 綺麗な内に、花びらを集め押し花にします。  
 空気に触れると変色することもあるので、素早く、慎重に作業を  
 進めないといけません。  
 作品を制作することより、これら素材の準備や保存・管理に一番  
 苦勞しますね。



実際、桜などのきれいな花々をきれいに綺麗に、沢山保存されていきました(へへ)

押し花絵は、『さあ作ろう』と思っても、今すぐ出来るものではなくて、事前に花や草、木などを取ってきます。  
 そして、水分を取るために、和紙のような押し花絵専用の紙に挟み、重しをして3～4日乾燥させます。  
 実際に使うまでに日数がある場合は、湿ったりするので電子レンジなどで乾燥させます。  
 ピンセット、ハサミ、(押し花絵用)ボンド、ヘラ、カッターナイフや(押し花絵用)和紙、保存用の袋などで、最初に1万円ぐらいかかりましたね。  
 また、作品が出来上がると額代もいります。

制作にはどのくらいの時間がかかるものですか？

1日に2～3時間くらい。あまり続けると腰が痛くなるので…。

この趣味を続けることで、どんな喜びがありますか？

根気のいる趣味ですが、自分の思い通りに、上手く出来た時にはとても嬉しくて、それが楽しみです。

取材を終えて…

いろいろと下準備をされて 時間をかけてアイデアをめぐらせて 自分で作る押し花絵。手や指先を使い、脳の活性化にも役立っている。いい趣味だと思いました。(編集スタッフO)



今年度も、11月1日～12月6日に  
 会員作品展を開催しました。  
 昨年に引き続きの会員さんも、新たに  
 出展された会員さんもありました。

皆さん、隠れた才能や趣味を発表してみませんか



## 年末恒例！ 公共施設等の清掃ボランティア活動

シルバー人材センターは、地域社会の一員として地域に貢献し、住民の皆さまから愛される団体でなければなりません。

そこで、日頃、高齢者の就業機会を提供して下さる地域の皆さまに、少しでもお役に立てたらと、12月7日(土)に、加東市シルバー人材センターの会員が、社、滝野、東条の各地域に分かれて、各地域のリーダーを中心に公共施設等のゴミや落ち葉等を清掃するボランティア活動を行いました。



## 互助会親睦旅行(久美浜温泉～伊根方面)

今年度の親睦旅行は、12月1日の日曜日に実施しました。市内2か所から大型バス2台で出発し、天候の都合で、伊根湾遊覧船は未就航でしたが、写真のように、ゆったりと時間をとったお昼の宴会を楽しむことができました。



### 1号車【東条地域・滝野地域の会員様】

コスミックホール駐車場=さんあいセンター駐車場=中国自動車道

### 2号車【社地域の会員様】

加東市役所庁舎南側駐車場=中国自動車道=海鮮せんべい但馬<休憩・お買い物=久美浜温泉・湯元館<ご入浴・昼食・ご休憩>=丹後お土産処 ごちそう市場「かに一番」<休憩・お買い物>お買い物=伊根湾めぐり遊覧船=舞鶴若狭道路・中国自動車道

|           |      |    |    |    |    |    |      |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |   |      |  |  |
|-----------|------|----|----|----|----|----|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|----|----|----|----|----|----|----|---|------|--|--|
| 編集スタッフO&K | しょう。 | でし | ると | 交流 | いて | 会員 | りま   | な仕 |    | 賢く | るの | を借 | セン | ます | たと | 予定 | 事持 | どう | が出 | てい | た | よう | く略 | とこ | や教 | だい | いく | 『年 |   | 編集後記 |  |  |
|           | うか。  | し  | 感じ | がま | いま | は、 | す。今日 | 仕事 | 取  | 岸本 | をの | 借り | ター | と  | とき | と、 | 定と | 持  | し  | 出  | い | ら  | う  | 略  | こ  | 教  | い  | を  | と |      |  |  |
|           | 。    | し  | る  | が  | ま  | だ  | だ    | 不足 | 交流 | 材  | 葉  | て、 | 一  | シ  | に、 | その | い  | つ  | した | 番  | ま | す  | う  | 「  | 養  | じ  | と  | と  |   |      |  |  |
|           | 。    | し  | る  | が  | ま  | だ  | だ    | 不足 | 交流 | 材  | 葉  | て、 | 一  | シ  | に、 | その | い  | つ  | した | 番  | ま | す  | う  | 「  | 養  | じ  | と  | と  |   |      |  |  |
|           | 。    | し  | る  | が  | ま  | だ  | だ    | 不足 | 交流 | 材  | 葉  | て、 | 一  | シ  | に、 | その | い  | つ  | した | 番  | ま | す  | う  | 「  | 養  | じ  | と  | と  |   |      |  |  |
|           | 。    | し  | る  | が  | ま  | だ  | だ    | 不足 | 交流 | 材  | 葉  | て、 | 一  | シ  | に、 | その | い  | つ  | した | 番  | ま | す  | う  | 「  | 養  | じ  | と  | と  |   |      |  |  |
|           | 。    | し  | る  | が  | ま  | だ  | だ    | 不足 | 交流 | 材  | 葉  | て、 | 一  | シ  | に、 | その | い  | つ  | した | 番  | ま | す  | う  | 「  | 養  | じ  | と  | と  |   |      |  |  |
|           | 。    | し  | る  | が  | ま  | だ  | だ    | 不足 | 交流 | 材  | 葉  | て、 | 一  | シ  | に、 | その | い  | つ  | した | 番  | ま | す  | う  | 「  | 養  | じ  | と  | と  |   |      |  |  |
|           | 。    | し  | る  | が  | ま  | だ  | だ    | 不足 | 交流 | 材  | 葉  | て、 | 一  | シ  | に、 | その | い  | つ  | した | 番  | ま | す  | う  | 「  | 養  | じ  | と  | と  |   |      |  |  |
|           | 。    | し  | る  | が  | ま  | だ  | だ    | 不足 | 交流 | 材  | 葉  | て、 | 一  | シ  | に、 | その | い  | つ  | した | 番  | ま | す  | う  | 「  | 養  | じ  | と  | と  |   |      |  |  |
|           | 。    | し  | る  | が  | ま  | だ  | だ    | 不足 | 交流 | 材  | 葉  | て、 | 一  | シ  | に、 | その | い  | つ  | した | 番  | ま | す  | う  | 「  | 養  | じ  | と  | と  |   |      |  |  |
|           | 。    | し  | る  | が  | ま  | だ  | だ    | 不足 | 交流 | 材  | 葉  | て、 | 一  | シ  | に、 | その | い  | つ  | した | 番  | ま | す  | う  | 「  | 養  | じ  | と  | と  |   |      |  |  |
|           | 。    | し  | る  | が  | ま  | だ  | だ    | 不足 | 交流 | 材  | 葉  | て、 | 一  | シ  | に、 | その | い  | つ  | した | 番  | ま | す  | う  | 「  | 養  | じ  | と  | と  |   |      |  |  |
|           | 。    | し  | る  | が  | ま  | だ  | だ    | 不足 | 交流 | 材  | 葉  | て、 | 一  | シ  | に、 | その | い  | つ  | した | 番  | ま | す  | う  | 「  | 養  | じ  | と  | と  |   |      |  |  |
|           | 。    | し  | る  | が  | ま  | だ  | だ    | 不足 | 交流 | 材  | 葉  | て、 | 一  | シ  | に、 | その | い  | つ  | した | 番  | ま | す  | う  | 「  | 養  | じ  | と  | と  |   |      |  |  |